

## 平成29年度「校友会のあり方」検討会における議論のテーマ

従来の検討会では、各グループ共通のテーマによる意見交換を行いました。今回はグループそれぞれで下記よりテーマを選定していただきたい。  
また、テーマは時間があれば一つに絞らず複数でも結構です。

## ◆検討テーマ

## 1. 財源確保…平成29年度から財源確保の手段として維持会費納入制度実施(別紙納入状況一覧参照)

## 納入方法

- ・会報「都市」に同封した納入書で振り込む
- ・地方支部総会等で出席者に説明し、現金を預かる

## 今後の課題

- ・会報に同封しても見えていない、他にも周知方法はないか
- ・納入しやすい方法はないか…他大学では郵便振り込みやコンビニ決済、クレジットカードによるweb決済等の納入方法も実施している
- ・一定期間経過後に終身会費値上げは可能か

## 2. 比較的新しい学科同窓会への支援

校友会の活性化を図るためにも若い学科への支援は必要ではないか。

- ・アンケートの回答結果からみえる課題

〔質問内容：困っていることはありますか〕

医工会…組織体制を再構築する予定。在学OB(大学院生)を含めた「役員」構成を目指す予定。人的支援もお願いしたい。具体的な方策はノープラン。

必要に応じた相談・支援を希望。

源友会…会運営のための実働時間の確保が困難。若い学科のため、会員は全て40歳以下で仕事と家庭に追われ時間を作ることが難しいため、実質的な立ち上げに時間がかかっている。会員に聞くと、会の実際の活動には前向きで、負担にならない範囲で多くの協力を得られると思われる。

等々力会…実質的な活動として「ホームカミングデー」に取り組んでいるが、参加者が少ない。後任及び卒業間もない卒業生との連絡手段の確保。

上記は一例であるが、他学科においても同様の課題をかかえていると思われる。そうした学科に対する支援は校友会全体で取り組むのか、世話役もしくは担当する学科等を決めて支援にあたるのか。その場合に適した人材又は学科はどのような方法で選定するのか。求められている支援に即応する体制が必要ではないか。

### 3. 各委員会・部会への若手メンバーの登用

- ・委員会・部会の活性化を図るためには若手メンバーの登用が必要なのではないか。
- ・比較的新しい学科同窓会は組織としての活動推進にはまだ時間を要するが、個人として委員会や部会の活動への参加は可能か。その場合、どのような委員会・部会が適しているのか。
- ・既存の委員会・部会だけでなく若手メンバー中心の部会をあらたに設置する方法もあるのではないか。例えば？

### 4. 校友会主催の親睦行事について

校友会会則の目的「本会は、会員相互の親睦を厚くし…」を推進する施策として以下の親睦行事を行っているが、企画内容や参加者増に向けて、幅広い意見を出していただきたい。

- ・賀詞交歓会 … 毎年1月下旬、世田谷キャンパスで開催
- ・親睦会 … バスツアー・屋形船・南極観測船とビール工場見学会等を実施